２０１８年（平成３０年）９月１７日　月曜日
デーリー東北　１２面　掲載

青森県 秋季高校野球 第2日

三沢商、工大一 光星、八工8強

秋季青森県高校野球選手権第2日は16日、弘前市はるか夢、青森県営、黒石市営の3球場で2回戦8試合を実施した。三沢商が板柳を5回コールドで退け、工大一も青森商に大勝。八学光星は八戸西に、八戸工は上北連合にそれぞれ勝利した。工大二は青森山田に、田名部は弘前工に敗れた。大湊は五所商に惜敗し、準々決勝進出はならなかった。17日ははるか夢、青森県営の2球場で準々決勝4試合を行う。（取材班）

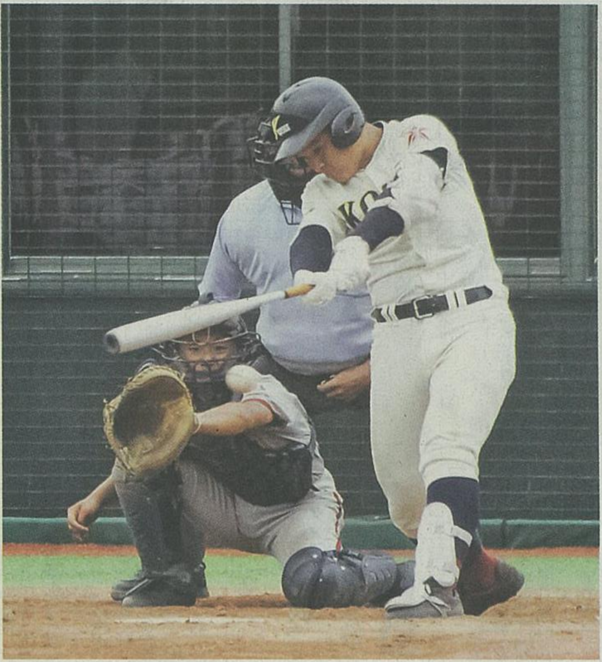
きのうの結果

▽2回戦
三　沢　商16－4板　柳
青森山田7－3工大二
八学光星9－2八戸西
弘　前　工8－2田名部
八　戸　工5－0上北連合
五　所　商7－5大　湊
工　大　一12－1青森商
弘　前　東10－3五所工

きょうの試合

▽準々決勝
【弘前市はるか夢】
八　戸　工－五所商（10・00）
工　大　一－弘前東（12・30）
【青森県営】
三　沢　商－青森山田（10・00）
八学光星－弘前工（12・30）

光星 終盤突き放す



【八戸西－八学光星】5回光星2死二塁、近藤遼一が左前適時打を放ち2－2の同点に追い付く＝はるか夢

八戸西	01100000	2
八学光星	0000224 1×	9

（8回コールド）
（西）敦賀、細川、金－對馬
（光）横山、後藤－太山
▽本塁打　太山（光）
▽三塁打　澤波（光）
▽二塁打　川内（西）　大江2、後藤、下山（光）

【八学光星】	打	安	点	振	球
⑧澤波	4	2	1	0	1
④島袋	4	1	1	0	0
⑥武岡	4	2	0	1	1
③近藤	5	2	2	1	0
⑦大江	4	2	1	0	0
⑤下山	4	1	0	0	0
⑨原	2	2	1	0	2
②太山	3	1	2	0	0
①横山	1	0	0	0	0
1後藤	3	1	1	0	0

犠盗失併残
２２００９　34　14　9　2　4

投手	回	打	安	振	球	失
敦賀	6⅔	34	11	2	3	7
細川	⅓	2	1	0	0	1
金	⅓	4	2	0	1	1
横山	2⅓	10	3	1	0	2
後藤	5⅔	20	2	4	1	0

【評】八学光星は2点を追う五回、島袋の犠飛や近藤の適時打で同点に。六回に2死二塁から後藤の適時二塁打で勝ち越すと、七、八回にも追加点を奪って勝負を決めた。

八戸西は先制点を奪ったが、三回から登板した後藤を攻略できず、追加点を奪えなかった。

粘り強さ光る

○…後半に打線が奮起し、コールド勝ちした夏の王者・八学光星。好投手相手に四回まで3安打に抑えられたが、粘り強さの光る試合運びを見せた。

八戸西のエースに疲労が見え始めた五回に光星の打線が動いた。島袋翔斗のタイムリーで1点差に迫り、四番近藤遼一が同点打。「いいところで打てた」と、秋から四番に座る近藤も安堵（あんど）の表情を見せた。

日本代表のU－18でヘッドコーチを務めた仲井宗基監督は、12日に合流したばかりだが、「いい状態で戦えている。粘り強さがある」とチームに太鼓判を押す。

新体制の初戦をものにし、近藤は「自分が打っていく」と気合を入れていた。

デーリー東北新聞社提供